

令和7年9月5日

日立理科クラブ通信

No 253



日立理科クラブ

日立理科クラブ活用研修会 小中学校

8月8日(金)に教育プラザで行われた日立理科クラブ活用研修会を紹介します。昨年度までは、小中学校別に行っていましたが、今回は合同の研修となりました。

この研修会は、日立市教育委員会主催の研修会で、市内小中学校から先生方が参加しました。青木指導課長からは、「理科クラブには素晴らしい教材がある。持ち帰って、科学に興味を持つ子を育ててほしい」、理科クラブの瀧澤代表理事からは、「昨日SSHの探究活動の発表を観てきた。年々、研究が進歩している。初等教育の段階で興味を育てていただければ必ず伸びると信じている。多くの教材があるのでぜひ活用してほしい」とあいさつがありました。

本日の研修内容は、(1)理科クラブを活用した授業づくり、(2)理科の授業づくり、(3)理科クラブ教材の体験、(4)グループ協議です。

教育委員会の斉藤指導主事から、研修会のガイダンスに続いて、日立理科クラブの概要紹介、理科教育の重点について説明がありました。

教材の体験では、次のような多くの教材が紹介され、先生方は説明を聞きながら体験しました。

- ①電磁石の基礎(磁界)
- ②スピーカーとマイク
- ③モーターのしくみ
- ④いろいろな光源の消費電力
- ⑤電磁誘導、手回し発電
- ⑥水力発電、風力発電、太陽光
- ⑦IHクッキング、誘導電流
- ⑧光通信
- ⑨ペルチェ素子、白色LEDのしくみ
- ⑩輪軸、滑車

説明は、学校の授業や日常生活と関連付けたものでした。先生方は順に移動しながら多くの教材に触れ、説明にうなずきながら、また、質問をしながら体験していました。写真を撮りながら説明を聞いている先生方もいました。理科クラブがこれまでに培ってきた教材について理解を深めたことと思います。

休憩時間には、ドローンを飛ばす体験もあり、先生方は興味をもって参加していました。

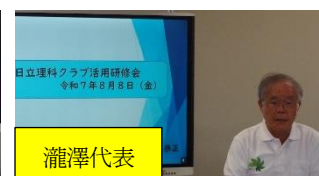
最後に、「理科における小中連携に向けて」のテーマで、班ごとに協議を行いました。協議の発表を聞くと、先生方が小中学校の連携の大切さについて、実感をもって認識しているのが分かりました。そして、「小学校ではどうすれば効果的に中学校につなげられるのか」、中学校では「小学校での学習を受けて子どもたちをどう伸ばしていけばいいのか」等のヒントがあったようです。



全体会の様子



青木課長



瀧澤代表



教材体験



教材体験



ドローン体験